

2023 年 8 月 4 日

通貨ニュース

新興国：製造業における需要の下支え役は不在

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数(PMI)によれば、7 月製造業 PMI は 48.7 と 6 月(48.7)から横ばい推移も、年初来で最低水準を更新。23 年に入ってから 49 台で横ばい推移したが、6 月以降明確に水準を切り下げた。11 か月連続で中立水準(=50)を割り込んでおり、製造業の景況感明確に下向きだ。先進国(46.3→47.1)は新規受注や購買品在庫を中心に上昇も、10 か月連続で中立水準割れを記録。片や、新興国(51.1→50.2)は新規受注や生産指数の低下が響き悪化も、6 か月連続で中立水準超えを維持した(図表 1、2)。また、グローバル非製造業 PMI(53.9→52.7)は前月に続き低下。先進国(53.6→51.9)、新興国(54.7→54.6)いずれも前月から低下した。

これらを合わせたコンポジット PMI は 51.7 と前月(52.7)から低下も、6 か月連続での中立水準超えを維持した。世界経済の実質 GDP 成長率は 2023 年 4～6 月期はプラス成長を維持も、前四半期からは勢いを落とした(図表 3)。PMI の推移を確認する限り、足許かけては引き続き減速基調にあるものと考えたい。

7 月グローバル製造業 PMI の特徴は、新規受注指数、中でも新規輸出受注指数の軟調さだろう。新規受注指数は 22 年 7 月以降、13 か月連続で中立水準割れを継続している。特に、先進国での悪化が顕著だ。また、新規輸出受注指数に関しても 17 か月連続で中立水準割れだが、こちらに関しては新興国の悪化が目立つ(後述)。全体でみても、新規輸出受注指数が中立水準超えを記録したのは、データの取れる 27 か国中、わずか 7 か国にとどまった。国際貿易取引の縮小が懸念される状況といえるだろう。

製造業 PMI の構成指数別には、先進国・新興国いずれも入荷遅延指数に頭打ち感が明確に確認できる(図表 4)。もちろん依然高水準だが、サプライチェーン改善には一服感がある。また、利上げによる外需下押しの警戒感により、貿易活動は軟調推移を続けている。特に、新興国の新規輸出受注指数は 7 月に 47.5 を記録、4 か月ぶりに中立水準割れに沈んだ(図表 5)。需要見通しの低迷を反映してか、新興国の在庫関連指数も頭打ちの様相を示す(図表 6)。他方、生産見通しは先進国、新興国いずれも底打ちの気配を見せている。中期的な生産見通しが底堅い以上、新興国に関しても過度な在庫の取り崩しには至らないものと考えたい(図表 7)。

個別の新興国では、台湾製造業 PMI の軟調さが目に付く(図表 12)。7 月には 44.1 と 6 月(44.8)から低下し、15 か月連続で中立水準割れを記録するなど他の東アジア諸国と比べても非常に弱さが目立つ。特に、新規輸出受注指数は 40.6 と 6 か月ぶりの水準に沈んでおり、公表元のコメントに目を通して、主要先進国向けの輸出ビジネスの鈍化が強調されており、世界経済低迷への警戒感が見て取れる。同国は半導体産業における重要地点に位置するだけに、世界的な株価動向などへの影響が懸念される結果といえるだろう。

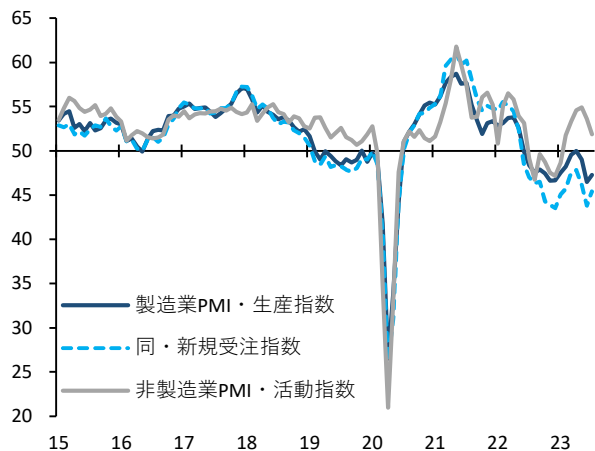
金融市場部

長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 先進国



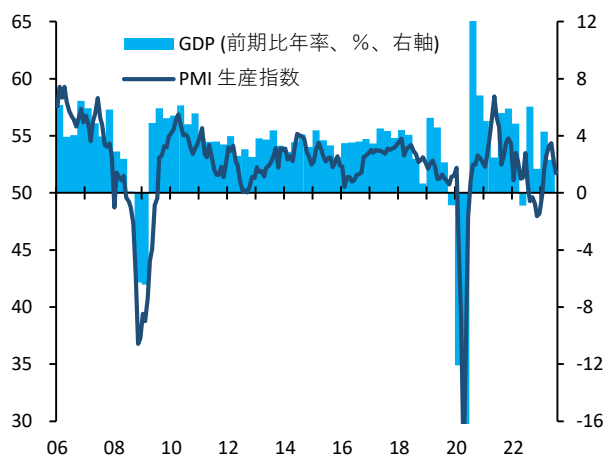
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



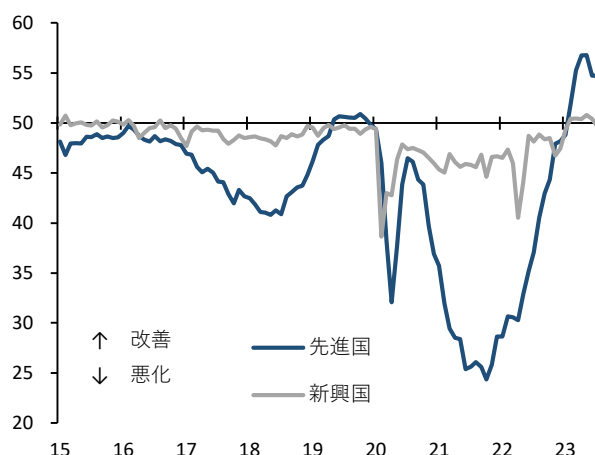
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI・入荷遅延指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・新規輸出受注指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 製造業 PMI・在庫関連指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 製造業 PMI・生産見通し指数



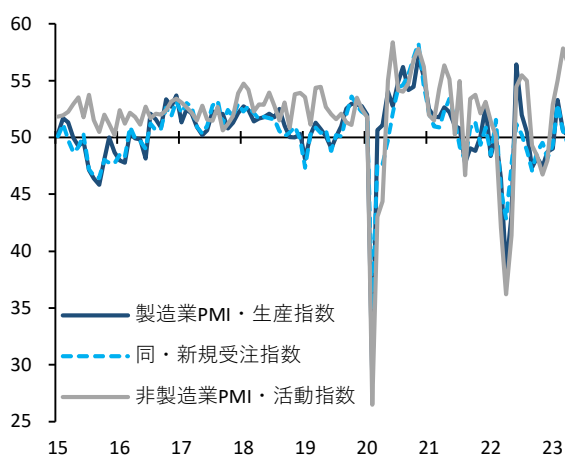
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 非製造業 PMI・活動見通し指数



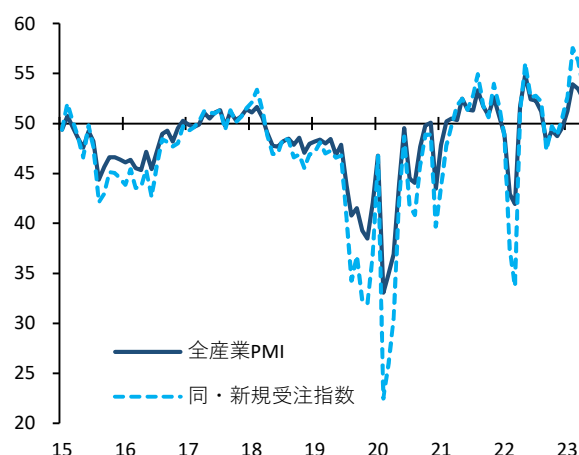
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9: 中国



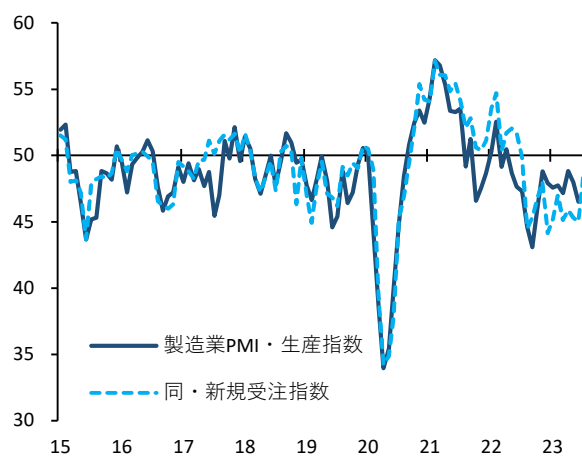
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10: 香港



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11: 韓国



出所: S&P Global、みずほ銀行

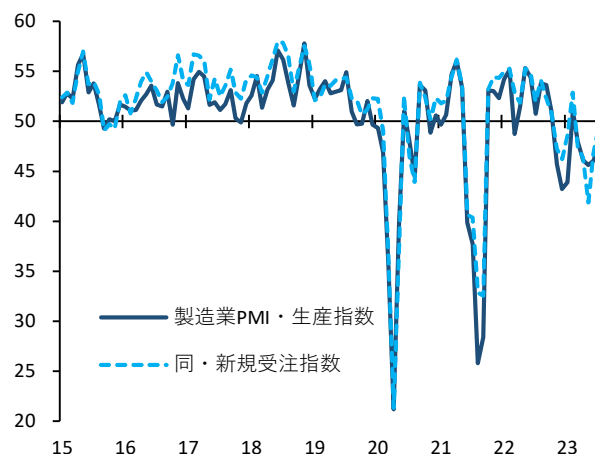
図表 12: 台湾



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: フィリピン

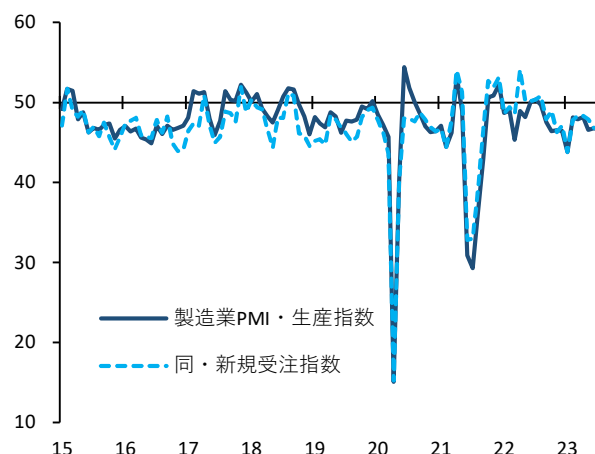

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: ベトナム


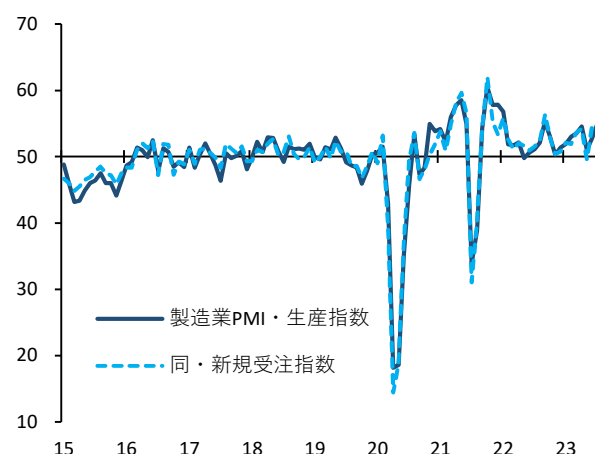
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: タイ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: マレーシア


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: インドネシア


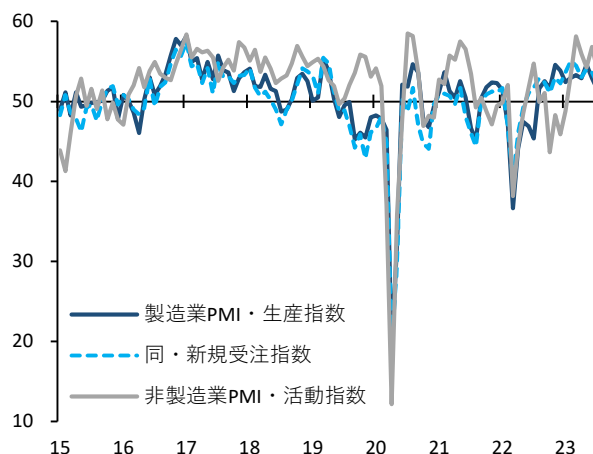
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: シンガポール

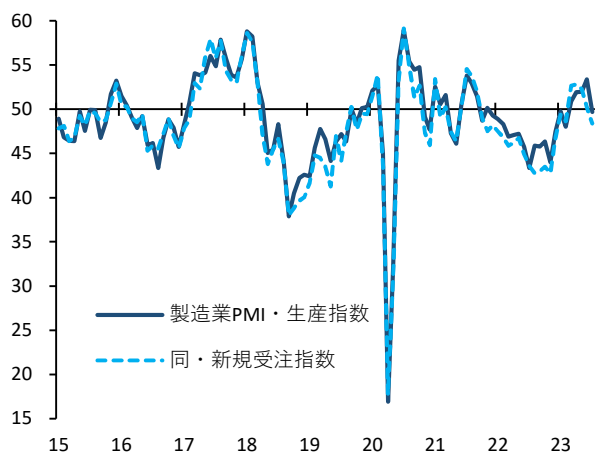

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 19: インド

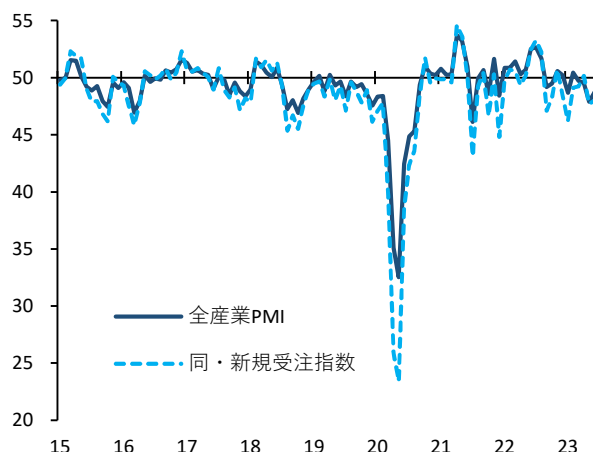

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 20: ロシア


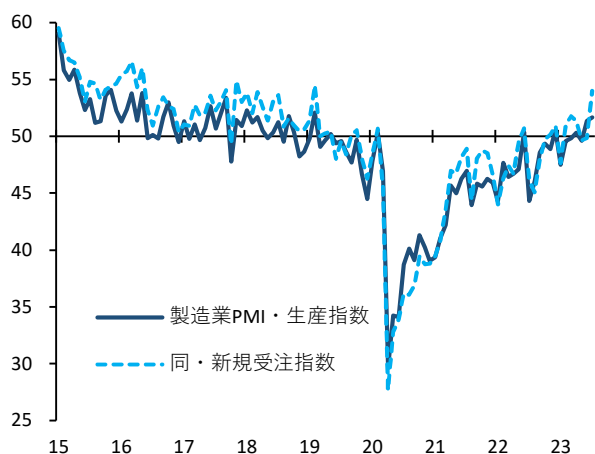
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 21: トルコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 22: 南アフリカ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 23: メキシコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 24: ブラジル


出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。